

[ 式中、各 X は、少なくとも 1 つの X が S、又は S を含む基であるという条件で、S、O、N、C、SO、SO<sub>2</sub>、N - アルキル、N - アシル、NH、N - アリール、及びカル

ボニルから独立して選択され；

Yは、存在しないか、あるいは任意にヘテロ原子を包含するC 1 ~ C 3 のアルキレン、カルボニル、アシル、又はこれらの組み合わせであり；

Zは、O、NH、N - アルキル、又はN - アリールであり；

R'は、少なくとも2つの炭素を有するアルキレン、少なくとも1つのヘテロ原子（例えば、O、N、S、S - S、SO、SO<sub>2</sub>）を有するアルキレン、アリーレン、脂環式、カルボニル、シロキサン、アミド（- CO - NH - ）、アシル（- CO - O - ）、ウレタン（- O - CO - NH - ）、尿素（- NH - CO - NH - ）基、並びにこれらの組み合わせから選択される基を含む連結部であり；

R''はH又はCH<sub>3</sub>であり；

aは1 ~ 3であり；

bは1 ~ 3であり；

ここで、1以上の環状アリル硫化物部分は、任意に環上で、直鎖状又は分岐鎖状アルキル、アリール、シクロアルキル、ハロゲン、ニトリル、アルコキシ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキルチオ、カルボニル、アシル、アシルオキシ、アミド、ウレタン基、及び尿素基から選択される1以上の基により、さらに置換され得る。]

【請求項3】

歯科修復剤の調製方法であり、

請求項1に記載の硬化可能な歯科組成物を提供することと、

該組成物を患者の歯に適用することと、

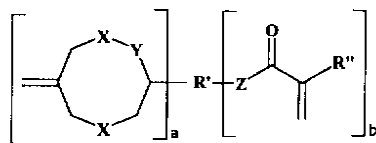
該組成物を重合すること、

とを含む方法。

【請求項4】

次式で表される化合物。

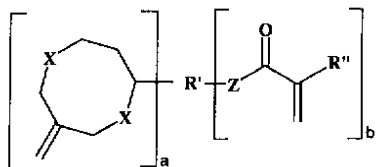
【化3】



式 I a

又は

【化4】



式 I b

[式中、各Xは、少なくとも1つのXがS、又はSを含む基であるという条件で、S、O、N、C、SO、SO<sub>2</sub>、N - アルキル、N - アシル、NH、N - アリール、及びカルボニルから独立して選択され；

Yは、存在しないか、あるいは任意にヘテロ原子を包含するC 1 ~ C 3 のアルキレン、カルボニル、アシル、又はこれらの組み合わせであり；

Zは、O、NH、N - アルキル、又はN - アリールであり；

R'は、少なくとも2つの炭素を有するアルキレン、少なくとも1つのヘテロ原子（例えば、O、N、S、S - S、SO、SO<sub>2</sub>）を有するアルキレン、アリーレン、脂環式、カルボニル、シロキサン、アミド（- CO - NH - ）、アシル（- CO - O - ）、ウレタ

ン ( - O - C O - N H - )、尿素 ( - N H - C O - N H - ) 基、並びにこれらの組み合わせから選択される基を含む連結部であり；

R " は H 又は C H<sub>3</sub> であり；

a は 1 ～ 3 であり；及び

b は 1 ～ 3 であり；

ここで、1 以上の環状アリル硫化物部分は、任意に環上で、直鎖状又は分岐鎖状アルキル、アリール、シクロアルキル、ハロゲン、ニトリル、アルコキシ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキルチオ、カルボニル、アシル、アシルオキシ、アミド、ウレタン基、及び尿素基から選択される 1 以上の基により、さらに置換され得る。]